

下小岩小学校 保護者説明会 記録要旨

【日 時】令和2年12月19日(土) 14時00分～14時40分

【会 場】下小岩小学校 体育館

【配布資料】下小岩小学校・下小岩第二小学校の統合・改築について

【説明内容】

- 1 統合・改築の理由について
- 2 統合による効果と課題について
- 3 統合に向けた取り組みについて
- 4 統合・改築のスケジュールについて

【質疑内容】

人口推計に関すること

- ・推計資料では、令和2年度以降は児童数が徐々に増加しており、令和7年度以降は標準規模の上限である18学級となるが、さらに学級数が増加した場合は再度2校に分かれるのか。
令和8年度までは増加傾向にあります。小岩地域としては2030年(令和12年)以降、年少人口が減っていくと予測しております。今回の統合・改築事業は、将来の年少人口の減少を見据えた計画であるため、一時的な人数の増加によって再度2校に分けることは考えておりません。

通学区域・通学路に関すること

- ・改築後の通学路について、通学距離が長くなる児童が多くなるが、通学区域の見直しは行わないのか。
現時点では見直す予定はありません。この人口推計は、駅前再開発によりマンション建設が決定しているものを加味したものです。さらに大型マンションの建設などの情報があった場合には再度検討いたします。
- ・小岩第五中学校の通学区域を見直す計画は無いのか。
現在、下小岩小学校と下小岩第二小学校は、小岩第五中学校の通学区域となっております。教育委員会では、可能な限り同じ小学校の児童が同じ中学校に進学できるよう通学区域を設定したいと考えているため、今のところ見直す計画はありません。
- ・新校舎完成後、現在の下小岩小学校の児童が下小岩第二小学校の敷地に通学する際、一番遠い児童はどの程度の距離を想定しているか。
下小岩第二小学校とおおむね対角線の位置となる小岩駅東側付近から直線距離でおよそ1km、実際の道のりではおよそ1.2kmとなります。江戸川区では、学校選択制の際に1つの基準として、ご自宅から学校まで直線距離で1.2km圏内の学校を選択することができるとしており、それを準用した形で考えております。また、1.2kmという距離は、小学1年生では20～25分程度かかることを想定しております。

避難所に関すること

- ・ハザードマップ上では、下小岩地域は1階が浸水すると記載されているが、新しく建設される校舎は、避難者のためにどのような配慮をするのか。

区が発行している水害ハザードマップにありますように、この地域は1階まで浸水する恐れがありますが、校舎の建築については、屋内運動場を2階以上の高さに配置することを原則としており、避難所として運営しやすいよう防災備蓄倉庫も近接して配置する予定です。また多くの方が一斉に避難することも想定した動線を検討してまいります。

改築に関すること

- ・新校舎の情報設備や環境はどのように充実化を図るのか。

新校舎の建設にあたっては、各教室の配置や広さ、動線等に配慮しながら設計を進めてまいります。これまでの改築校の事例では、パソコン室と図書室を近接させることで、児童が調べ学習をしやすい配置で設計してまいりました。また、ICT関連では、来年度からGIGAスクール構想に基づいてタブレットを児童全員にお持ちいただくこととなりますが、校内での同時利用に対応できるよう無線LAN環境の整備を進めてまいります。

会議体について

- ・合同会議とはどのような会議なのか。

今後統合に向けた諸課題、例えば校名や校歌、校章をどのようにするかについて検討を進めていく会議体で、主に両校の学校評議員、PTA会長、PTA役員、校長、副校長で構成されています。